

# スマホ向けゲーム配信

## 丸井織物 衣料品販売にIT活用

スポーツウェア向け生地などを製造する丸井織物（石川県中能登町）は、スマートフォン（スマホ）向けにソーシャルゲームを配信するほか、ファッションの買い物代行サービスを始める。2015年12月から本格的に立ち上げたIT（情報技術）事業の一環。ファッション分野など本業とも連携し、3年後をメドにIT事業の売上高を10億円にまで引き上げる計画だ。



10月以降、スマホ向けにソーシャルゲームを配信する（「誰かが為ノ世界」の公式サイト）

## 服選び、サイトで提案

同社がソーシャルゲームの世界が舞台の戦略を手掛けるのは初め。型ロールプレイングゲーム（RPG）「誰かが為ノ世界」を配信する。

「世界」をスマホ向けに配信する。価格は無料だが、有料アイテムで収益を確保する。通常のストーリーとは別に芸能人などが敵として登場するサブス

### 丸井織物が手掛けるIT事業

【サービス名】	【内容】
スタンプクリエーション	無料対話アプリLINEのスタンプ制作代行
アップティ	オリジナルのTシャツや小物の作製、デザインの登録・販売が可能
テキスタイルモール	生地やボタンなどを専門に取り扱うインターネットモール

トーリーも用意する。このほか、ファッション分野の買い物代行サービスも年内に立ち上げる。サイトに登録した利

用者が提示した用途や価格に合わせ、複数のスタンプリストが服装のコーディネート提案を提示。選んだ案の服が実際に届く。利用者が提示した額と実際の購入額の差額をスタンプリストと丸井織物が利益として分ける。

丸井織物は20年12月期を最終年度とする経営計画を策定。「ものづくりとITの融合」をテーマに、売上高を14年12月期の約2倍にあたる200億円にまで引き上げる計画だ。

このうち、44億円をIT事業で稼ぎ出す構想だ。今年に入ってから、オリジナルTシャツなどの作製やデザインの登録・販売ができるネットサービスのほか、繊維業者とデ

ザイナーなどが小規模な単位から生地を直接取引できるネットモールも立ち上げた。

ゲームに登場するキャラクターのイラストをTシャツや小物のデザインとして選べるようにしたり、無料対話アプリ「LINE」のスタンプで配信したりするなど、IT

事業も積極的に連携させて規模を拡大。繊維やファッションの需要をIT事業で喚起することで、本業の底上げにもつなげる考えだ。

衣料品製造は世界規模では増加が見込まれているが、割安な新興国企業の影響で国内勢は苦戦を強いられている。こうし

た中、同社は高度な技術力を武器に成長を続けてきた。ただ、「国内事業をさらに伸ばすには本業（宮本米蔵取締役）と判断し、ネット事業部を昨年10月に立ち上げた。今後は東京を中心にITに詳しい技術者の採用に乗り出す計画だ。